

報告事項

- 令和4年7月中の苦情申出受理件数 ～ 公安委員会0件、警察4件
- 令和4年の苦情申出総受理件数 ～ 公安委員会7件、警察22件

1 月別苦情申出受理件数

区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
公安委員会	件数	2	1	1	0	1	2	0						7
	前年比	+2	±0	-1	-1	-4	+2	-1						-3
警察	件数	2	3	2	3	4	4	4						22
	前年比	+1	±0	-7	+1	±0	-1	+4						-2

2 苦情内容別受理・処理件数

内 容	公安委員会				警 察			
	7月		累計		7月		累計	
	受理	処理	受理	処理	受理	処理	受理	処理
遺失・拾得届								
窓口・電話対応								1 (1)
各種保護								
職務質問・検問								
110番対応・臨場								
各種相談				1 (1)			2	2 (1)
少年補導								
被害届等			1					1 (1)
告訴・告発							1	1
捜査(逮捕、取調等)			2	4 (2)	1	1	13	10 (5)
交通指導取締り			2	1	2		5	3
交通事故処理			1	1	1		1	2 (2)
その他		1	1	2 (1)				1 (1)
合 計	0	1 (0)	7	9 (4)	4	1 (0)	22	21 (11)

(注) 処理欄の () 内の数字は、前年受理分で内数

報告事項

全警察署に対する「業務及びサービス監察」を実施した結果、おおむね良好であった。

1 実施期間

令和4年4月から6月までの間

2 対象所属

全警察署

3 実施者

担当監察官及び監察補佐員

4 監察項目

(1) 業務監察

ストーカー事案への適切な対応状況

ア 相談等受理時の対応状況

イ 組織的な対応状況

ウ 指導教養等の実施状況

(2) サービス監察

ア 非違事案防止対策の推進状況及び各種事故防止対策の取組状況

イ 職員の指導・支援の実施状況

ウ ハラスメント防止対策の推進状況

エ 通常点検、術科訓練

5 実施結果

おおむね良好であったが、ストーカー事案への組織的な対応状況及び術科訓練について一部指導した。

公安委員会 説明資料No. 3	「かがわマナーアップリーダーズサミット2022」 の開催結果について	令和4年8月18日 生活安全部
--------------------	---------------------------------------	--------------------

報告事項

少年の非行防止や健全育成に関する啓発活動に取り組んでいる中学生「かがわマナーアップリーダーズ」の活動をより充実させるため、研修の機会として「かがわマナーアップリーダーズサミット2022」を開催した。

1 開催目的

かがわマナーアップリーダーズ（以下「リーダーズ」という。）の学校代表が集まり、現在の非行の状況について理解を深めるとともに、各校の課題や取組方針等についての意見交換を通じて、今年度の活動に反映させる。

2 開催日時

令和4年8月2日（火）午後2時から午後4時までの間

3 開催場所

県警察本部6階大会議室及び各警察署

（香川県警 Web 会議ポータルを利用して、県内11警察署とのリモート会議）

※三豊市立豊中中学校は諸事情により不参加

4 出席者

(1) 各警察署管内リーダーズ登録校の代表校（生徒29人、教員11人、計40人）

東かがわ市立大川中学校(3人) さぬき市立さぬき南中学校(3人)

高松市立山田中学校(2人) 土庄町立豊島中学校(3人) 高松市立古高松中学校(2人)

高松市立香川第一中学校(2人) 坂出市立坂出中学校(3人) 綾川町立綾川中学校(2人)

香川県藤井中学校(3人) 琴平町立琴平中学校(3人) 観音寺市立大野原中学校(3人)

※（ ）内は参加生徒数

(2) 県警察（本部9人、各警察署16人、計25人）

生活安全部長、少年課 課長以下8人、各警察署少年補導職員等16人

5 内容

(1) 生活安全部長挨拶

(2) 講話「SNSに起因する子どもの性被害防止と薬物乱用防止について」

(3) 討議「講話内容を全校生に広げるための方法について」

(4) リーダーズ活動計画の発表

抱える課題	解決するための活動	連携諸機関	広報・周知活動
あいさつ 交通マナー 環境美化 スマホ利用 地域との関係 等	あいさつ運動 交通安全パトロール 環境美化活動 地域でのボランティア活動 SNS利用のCM制作 SNS利用についての人権劇 等	警察署 市役所・役場 大学 地域の施設 地区防犯協会 PTA 等	学校ホームページ 市町広報紙 ポスター 各種新聞 町役場のディスプレイ ケーブルテレビ 等

(5) 質疑応答

(6) 少年課長講評

報告事項

「公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センター」の令和3年度事業結果及び令和4年度事業計画について報告する。

1 公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センターの目的

公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センター（以下「センター」という。）は、暴力団員等による不当な行為の防止及び被害の救済のための活動を推進することにより、暴力のない安全で平穏な社会の実現に寄与することを目的とする。

2 令和3年度事業結果

(1) 広報啓発事業

ア 広報啓発事業実施状況

- ・ センターの相談窓口等の周知
- ・ 各種講習会での資料の配布、暴排ビデオの視聴
- ・ 暴力追放ポスター、広報紙、刊行物の配布

イ 暴力追放標語県内優秀作品の展示

ウ 表彰関係

- ・ 警察庁長官、全国暴追センター代表理事表彰
- ・ 四国ブロック暴追センター連絡協議会会長、中国・四国管区警察局長表彰
- ・ 香川県暴追センター会長・香川県警察本部長表彰
- ・ 暴追標語表彰

エ ホームページでの広報、暴排ビデオの貸出及び図書の斡旋

オ 暴力団排除・不当要求対策～暴排講演・講習実施状況

- ・ 行政機関対象 15回 481人 事業所等対象 21回 1179人

カ 暴力団排除推進旬間開始式キャンペーンの実施

(2) 相談・助言（支援）事業

ア 講演会・研修会等での相談・助言（支援）事業の実施

イ 暴力追放相談の受理と助言解決活動状況

相談・助言受理件数の推移

年度	H4	H29	H30	R1	R2	R3
面接	161	487	717	638	604	468
電話	56	149	200	174	187	119
文書		266	79	58	51	33
合計	217	902	996	870	842	620

ウ 民事介入暴力出張相談所の開設

エ 暴力団離脱・社会復帰支援対策

- ・ 高松刑務所において離脱に向けての面接指導を実施（12回、9人）
- ・ 暴力団から離脱した者の社会復帰対策の連携に関する協定の運用
- ・ 離脱者就労協力企業の増加（16社）
- ・ 口座開設支援（1人）
- ・ 暴力団離脱者の住民基本台帳事務における支援措置（1件）

オ 少年に対する暴力団の影響排除と相談受理時の指導・助言

(3) 講習、研修事業

ア 不当要求防止責任者講習実施状況

年度	R1	R2	R3
実施回数	18	21	17
受講者	921	751	697

イ 暴力追放モニター及び暴力追放相談委員等の合同研修会

(4) 助成、貸付事業

ア 被害者に対する見舞金の支給

イ 民事訴訟支援状況

年度	R2	R3
訴訟数	1	0
勝訴（和解）	1	0

ウ 地域・職域の暴力追放組織に対する暴力団追放活動助成金支給

(5) 調査、資料収集事業

ア 暴力団等の排除、被害予防に資するための調査と資料収集

イ 暴力追放モニターを運用しての調査と資料収集

(6) 公益事業実施のための財源に係る賛助会員入会・退会状況

区分	加入	退会	R3 年度末現在
企業	3	8	467(-5)
個人	3	1	50(+2)
計	6	9	517(-3)

3 令和4年度事業計画

前年度と同様の取組を実施予定

4 収支報告・予算

(1) 収入（経常収益計）

（単位：円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	27,920,993	29,148,055	30,141,055
決算	29,186,543	29,354,681	

(2) 支出（経常費用計）

（単位：円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	33,264,113	34,761,191	32,119,557
決算	30,016,891	30,363,498	

公安委員会 説明資料No. 5	令和4年上半期における小型無人機等の飛行に ついての通報の受理概要について	令和4年8月18日 警 備 部
--------------------	------------------------------------------	--------------------

報告事項

令和4年上半期に受理した小型無人機等の飛行についての通報は、13件である。

1 受理期間

令和4年1月1日から同年6月30日までの間

2 受理件数

13件

3 受理概要

(1) 陸上自衛隊 12件

○ 訓練 8件

○ 点検 1件

○ 行事 3件

(2) 自治体 1件

○ 調査 1件